

福島県支部の防災・減災の取り組み



防災セミナー

災害からいのちを守るために必要な知識や備えについて理解し、実践していただくことを目的に開催しています。グループワークなどを通じて「顔の見える地域づくり」の一助にご活用いただいています。

令和5年度実績
93回
4,918人



青少年赤十字 防災教育プログラム

「気づき・考え・実行する」をスローガンに、災害への正しい理解と、自ら考え・判断して危険から身を守る子どもを育成しています。園児から高校生まで、さまざまな教材を提供し、学校教育の中で実施しています。

令和5年度実績
18回
1,568人



救急法等の講習

けがや病気の手当を学ぶ救急法や幼児安全法のほか、避難生活で起こりうる問題を知り、支援の方法を学べる避難生活支援講習などがあります。

令和5年度実績
349回
10,468人

福島県支部の救護体制

- 常備救護班 8班
- 救護員数 304人
- 赤十字ボランティア 143団 9,595人
- 救援物資 毛布・タオルケット・バスタオル
安眠セット・緊急セット

令和6年3月末現在

講師派遣いたします！

まずはお電話にてお問合せ下さい

一般向け【防災セミナー・救急法等の講習】事業推進課 TEL：024-545-7996
学校向け【青少年赤十字防災教育プログラム】組織振興課 TEL：024-545-7998



防災チェック 災害の「備え」チェックリスト ご自身の必要なものを考えてみてください

貴重品

- 現金(小銭を含む)※公衆電話用に10円玉、100円玉も
- 印鑑
- ※以下は、現物を持ち出せなかった場合に備えてコピーを入れておく



- 健康保険証
- 身分を証明できるもの(学生証、パスポートなど)
- 母子手帳 お薬手帳

情報収集用品

- 携帯電話・充電器
- 携帯ラジオ・予備電池
- 家族の写真(はぐれた時の確認用)
- 家族との災害時の取り決めメモ
- 筆記用具



食料

- 非常食
- 飲料水



便利品

- ヘルメット
- 懐中電灯・予備電池
- 笛やブザー(音を出して知らせるもの)
- 万能ナイフ 使い捨てカイロ
- マスク ビニール袋
- アルミ製保護シート 毛布
- スリッパ 軍手 マッチ・ライター
- 給水袋 雨具(レインコート、長靴など)
- 簡易トイレ



清潔・健康のためのもの

- 救急セット
- 常備薬・持病薬
- 予備の眼鏡・コンタクトレンズ
- タオル
- トイレットペーパー
- 着替え(下着を含む)
- ウェットティッシュ
- 生理用品
- 歯みがきセット
- 消毒できるもの
- 体温計
- ビニール手袋
- 紙おむつ



日本赤十字社 福島県支部 〒960-1197 福島市永井川字北原田17
Japanese Red Cross Society <https://www.jrc.or.jp/chapter/fukushima>

【お問合せ先】 平日9:00~17:30

- 組織振興課 TEL 024-545-7998
…活動資金・義援金・ボランティア・青少年赤十字について
- 事業推進課 TEL 024-545-7996
…講習会・災害救護・海外救援金・国際活動について
- 総務課 TEL 024-545-7997

Instagram
やってます!



本紙に対するご意見、ご感想をお待ちしています



日赤ふくしま



石川県能登町の避難所で診療を行う福島県支部救護班

令和6年能登半島地震での災害救護活動

令和6年1月1日16時10分、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。日本赤十字社では、救護班(医師・看護師・事務職員等で構成される医療チーム)、日赤災害医療コーディネートチーム、こころのケア班の派遣や、救援物資の配布など全社をあげて救護活動を行ってまいりました。

福島県支部からは、福島赤十字病院のメンバーを中心に1月6日から3月13日まで救護班5班41名、日赤災害医療コーディネートチーム2班6名、こころのケア班1班5名を、能登町・珠洲市・七尾市に派遣しました。また、DMAT(災害派遣医療チーム)の業務調整員や、厚生労働省からの要請による被災地医療機関支援のための看護師を輪島市に派遣するなど、避難所での巡回診療をはじめ、被災された方々に寄り添った活動を行いました。



こころのケア班は、支援者支援として七尾市役所職員にリラクゼーションを実施

能登半島地震における赤十字の活動

- 職員派遣
医療救護班(DMAT含む)…延べ342班
日赤災害医療コーディネートチーム…延べ119チーム
こころのケア班(調整班除く)…延べ44班
支部支援要員…68名派遣
- 救援物資の配布
毛布…16,005枚 安眠セット…5,230セット
緊急セット…2,224セット
その他 携帯型簡易トイレ…3,400個
- 赤十字ボランティア…延べ1,709人が活動

救いを託されている。

東日本大震災の被災県として能登の方々に少しでも恩返しを



初動救護班として1月7日から9日まで、石川県能登町で避難所の巡回診療や感染症対策、お薬の供給体制確立などの医療支援にあたりました。

被災地は建物の損壊も甚大でしたが、特に道路状況が悪く被害の大きい地域に迅速な支援が行き届かない状況でした。

また、冬の積雪地域での大規模災害で、高齢者が多い地域でもあることから、健康被害が起きやすい環境でした。

東日本大震災の被災県として、能登の方々に少しでも恩返しを、との思いで活動してきました。



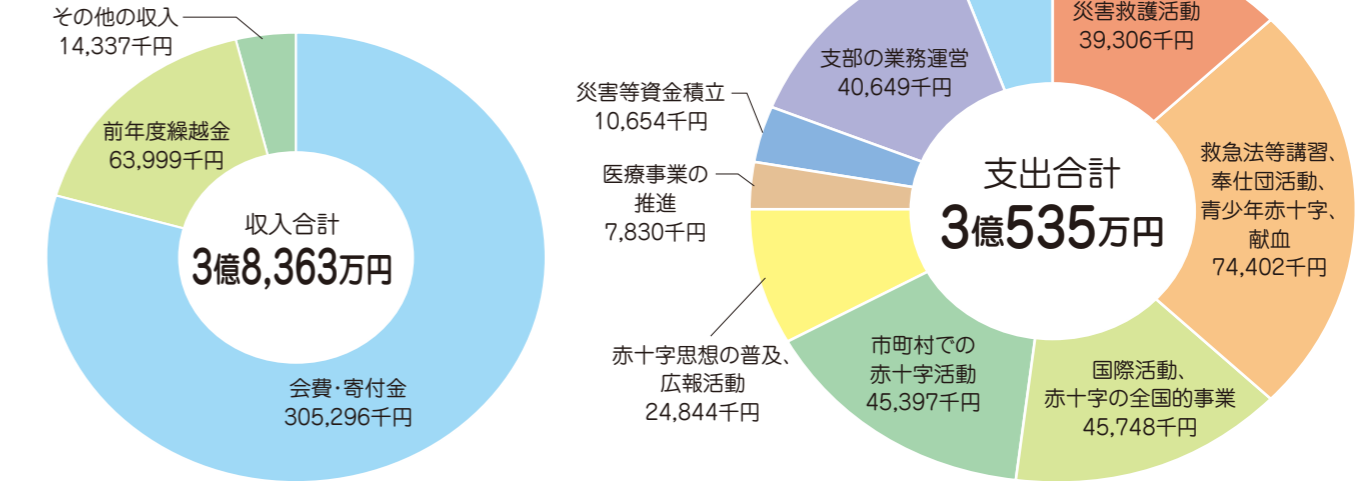
上：石川県能登町の避難所で巡回診療する渡部医師
下：ブリーフィングにて情報共有する福島県支部救護班



福島赤十字病院
循環器内科 主任部長
渡部 研一 医師
(福島県支部救護班第1班班長)

日本赤十字社福島県支部 令和5年度決算報告

活動資金にご支援をいただきました皆さまに改めて感謝申し上げます。



災害義援金 **4,276万360円**

※全額を被災都道府県に設置される義援金配分委員会へお送りいたします。義援金が日本赤十字社の活動資金や事務経費に使われることは一切ありません。

※赤十字病院、血液センターは施設ごとの会計になっており、この決算には含まれておりません。

災害時の被災者救護や感染症拡大防止への対応、防災・減災の普及啓発やボランティアの育成など、日本赤十字社のいのちを救うさまざまな活動は皆さまからの継続的なご支援に支えられています。

日本赤十字社福島県支部は、国や県からの補助金等を受けずに、ご寄付いただいた活動資金で組織を運営し、事業を行っております。

赤十字へのご寄付には税制上の優遇措置があるほか、表彰制度を設けております。

また、遺贈・相続財産のご寄付も承っております。ご案内パンフレットをお送りしておりますので、ご希望の方は組織振興課（☎024-545-7998）までお問い合わせください。



赤十字健康コラム ～脳卒中の「FAST」～

季節の変わり目、特に急に冷え込む時期に増えるのが「脳卒中」です。脳卒中は、脳梗塞・脳出血・くも膜下出血といった脳の血管が詰まったり破けたりして生じる病気の総称です。



脳卒中の「FAST」をご存知でしょうか。FAST は脳卒中によくある3つの症状 (Face, Arm, Speech) と、発症時刻 (Time) の頭文字を取った言葉です。

Face：顔の麻痺・顔がゆがむ、Arm：手の麻痺、Speech：言葉が出にくい・ろれつが回らないといった症状が脳卒中に典型的です。症状がみられた場合は、Time：発症時刻を確認し、すぐに救急車を呼んでください。

脳梗塞の発症から数時間以内であれば、血栓を溶かす点滴薬や血栓を取り除くカテーテル手術ができる場合があります。患者さんの脳卒中発症時に近くにいるのはご家族、ご友人であることがほとんどです。大切な方を守るためにぜひ「FAST」を心に留めてください。



福島赤十字病院
脳神経外科 副部長
伊藤 裕平 医師

義援金・海外救援金の受付も行っていきます

令和6年11月現在

- 令和6年能登半島地震災害義援金
- 令和6年7月25日からの大雨災害義援金
- 令和6年9月能登半島大雨災害義援金
- レバノン人道危機救援金
- イスラエル・ガザ人道危機救援金
- ウクライナ人道危機救援金
- アフガニスタン人道危機救援金
- バングラデシュ南部避難民救援金
- 中東人道危機救援金

詳しくはホームページをご覧ください。

「義援金」の流れ



日本赤十字社が受け付けた「義援金」は、被災都道府県に設置される義援金配分委員会に全額送金し、同委員会が定める配分基準に従って被災された皆さまへ届けられます。

何が違うの？

- **活動資金**…日赤が行う人道活動のために使われます。災害で被災した方への医療救護活動や救援物資のほか、防災教育や青少年赤十字 (JRC)、救急法の講習などは、活動資金をもとに行われます。
- **義援金**…全額被災者に届けられます。被災都道府県に設置される「義援金配分委員会」に全額を送金し、配分基準に従って被災者へ届けられます。国や自治体が行う復旧事業や、日赤の活動には一切使われません。
- **海外救援金**…海外で発生した災害や紛争による被災者を支援するために使われます。世界各国の赤十字社・赤新月社を通じて、被災地の赤十字社の救護活動・復興支援活動に役立てられます。

輸血経験者からのメッセージを募集しています

福島県赤十字血液センターでは、献血の大切さを広めるための活動として、輸血経験のある方やそのご家族からのメッセージを募集しています。

輸血を受けられたことのある皆さまだからこそできる、献血の大切さを広める活動に、ぜひご協力をお願いいたします。



ご投稿はこちらから



2025年大阪・関西万博に赤十字パビリオンを出展します！

「国際赤十字・赤新月運動館」として「人間を救うのは、人間だ。～ The Power of Humanity ～」をコンセプトに、体験型のパビリオンを出展いたします。

赤十字パビリオン
外觀イメージ

